

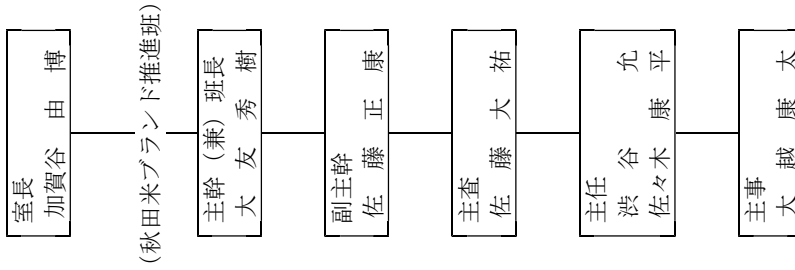
水田総合利用課
秋田米ブランド推進室

水田総合利用課秋田米ブランド推進室

(令和2年4月1日現在)

室の所掌事務

- (秋田米ブランド推進班)
- ・水稲新品種のデビュー対策
 - ・秋田米新品種ブランド化戦略本部の運営



事業名	秋田米をリードする新品種デビュー対策事業 【地方創生推進交付金】 【農林漁業振興臨時対策基金】		担当	秋田米ブランド推進班		
事業年度	平成30～令和3	事業主体	県	当初予算額	128,124千円	
事業目的	極良食味水稲新品種「秋系821」を秋田米のフラッグシップに据え、産地間競争に打ち勝つ「トップブランド米」を目指すため、令和元年度に策定した「秋田米新品種ブランド化戦略」に基づき、生産、流通・販売、情報発信等の取組を総合的に実施する。			財源	国庫	48,550千円
				内	財産	1,062千円
				訳	繰入金	78,505千円
					諸収入	7千円
実施内容	1 確かな品質で安定供給できる生産体制確立事業 41,471千円 (㊦19,545 ㊧1,062 ㊨20,857 ㊩7)					
	品種特性である食味の良さを最大限発揮し得る栽培方法を確立するとともに、令和4年の一般作付に向け、生産者の確保や栽培技術の普及、優良種子の生産等を進める。					
	(1) 品種栽培特性調査 現地栽培試験による栽培特性や品種特性の調査(試験ほ場：県内12か所) 等					
	(2) 商品訴求力の向上につながるデータ収集 炊飯特性、味覚分析、長期保存品質調査、情報収集 等					
	(3) 品種特性を発揮できる栽培方法等の調査					
	① 栽培マニュアル作成のためのデータ収集 ア 現地栽培試験(県内12か所)、施肥反応試験(農試1か所) イ 食味関連性調査(食味分析委託先：(一財)日本穀物検定協会、55点)					
	② 栽培適地設定のための調査					
	(4) 種子生産対策					
	① 原種生産 ② 施設設備整備(農試) 等					
	(5) 生産体制の構築					
① 生産者の確保(募集、選考、登録) ② 区分集荷体制の構築 ア 事業内容 県域集荷団体における食味分析計の導入支援 イ 事業主体 県域集荷団体 ウ 導入量 5台 エ 補助率 国1/6以内、県1/6以内						
2 トップブランド米の地位確立に向けた流通・販売対策事業 14,657千円 (㊦7,538 ㊨7,119)						
総合プロデューサーの監修の下に、名称、ブランドコンセプト、ロゴマーク等の統一感を確保し、訴求力のあ るブランドイメージを構築する。						
(1) ブランド化総合プロデュース 名称公募の監修、名称選考、デザイナーの指名 等						
(2) ブランドコンセプト・デザイン制作 ブランドコンセプト、ロゴマーク、キャッチコピーの制作 等						
(3) 流通・販売促進活動 卸・小売調査、試食アンケート、デザイナー等打ち合わせ、海外品種登録 等						
3 知名度や関心を高めるための戦略的な情報発信事業 63,810千円 (㊦17,990 ㊨45,820)						
デビュー前から戦略的な情報発信を実施し、県内外からの関心や期待感を高める。						
(1) 名称決定 名称公募、名称発表イベント、マスメディアを活用した話題創出 等						
(2) 情報発信活動 サンプル米を活用したPR、HP・SNSによる情報発信 等						
4 ブランド化戦略推体制整備事業 8,186千円 (㊦3,477 ㊨4,709)						
「秋田米新品種ブランド化戦略本部」の円滑な運営を図るとともに、「秋田米新品種ブランド化戦略」に 基づく各種の取組をオール秋田体制で推進する。						
(1) 新品種ブランド化戦略本部の運営 本部会議、専門部会、名称選考部会、戦略の進行管理 等						